

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月 : 15 March 2004

背景: プロスタサイクリンは、血小板、血管、神経細胞に対して多くの作用を発揮する薬剤であり、急性虚血性脳卒中後のアウトカムを改善に導くと考えられている。注: 本レビューでは積極的な研究が行われていない分野をカバーしている。適切な試験が終了するなど、関連情報を入手した際に更新する。

目的: 本レビューの目的は、急性虚血性脳卒中後の患者の生存に対するプロスタサイクリンまたはアナログの有効性について評価することであった。

検索戦略: Cochrane Stroke Group Trials Register(最終検索2003年11月)を検索した。初版では、EMBASE(1980年~1999年)、MEDLINE(1966年~1999年) Science Citation Index(1981年~1999年)、Ottawa Stroke Trials Registryも検索した。プロスタサイクリンのメーカーおよび抽出した試験の試験総括医師と連絡をとった。

選択基準: プロスタサイクリンまたはアナログとプラセボまたは対照が比較されたランダム化試験であり、脳卒中発症から1週間以内に患者が登録された試験を対象とした。

データ収集分析: ランダム化、盲検化、および分析の方法、ランダム化された患者数、プロスタサイクリンまたはアナログの用量と投与のタイミング、患者の脱落、各試験中に死亡した患者数、試験の質に関する情報を収集・評価した。

主な結果: 191名の患者が含まれる5件の試験を登録した。早期死亡(4週間以内)は、プロスタサイクリン群6名、プラセボ群9名であった(オッズ比(OR)0.63、95%信頼区間(CI)0.22~1.85)。32名の患者を対象とした1件の試験では、各群の50%において晩期死亡(10~18ヶ月)が報告されていた。

レビューア見解: ランダム化試験において試験の対象とされた患者数がきわめて少ないため、急性脳卒中患者の生存に対するプロスタサイクリン投与の効果に関する結論を導くことはできなかった。

Citation: Bath PMW. Prostacyclin and analogues for acute ischaemic stroke. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2004, Issue 3. Art. No.: CD000177. DOI: 10.1002/14651858.CD000177.pub2.

Clib issue No.: 2005 issue 4

CRG名: Stroke

* **ご注意:** この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。